

# 海峡と歴史のまち 下関

な か お とも あ き  
下関市長(山口県) 中尾友昭

*Tomoaki Nakao*



## 海峡のまちに住む

下関市は、本州の最西端に位置し、三方が海に開かれた自然と文化に恵まれた海峡と歴史のまちです。

市長執務室からは、本市のシンボルである関門海峡を間近に眺めることができ、対岸には、北九州市の門司港レトロ地区があり、最近では、両市とも夜の景観に力を入れています。

対岸の北九州まで一番近いところは、約600m、初めてご覧になった方は、川と間違えることも多いようです。

この海峡は、わが国の歴史の十字路口でもあります。今から遡ること831年前の



火の山公園から見下ろす関門海峡

1185年、この海峡の壇ノ浦沖で源平最後の戦いが、404年前の1612年には、巖流島で武蔵・小次郎の決闘が行われました。江戸時代には、北前船最大の寄港地として大阪と並ぶにぎわいを見せ、幕末には、高杉晋作率いる奇兵隊が活躍しました。

その後、大陸への玄関口として繁栄し、さらに明治・大正・昭和と捕鯨のまち日本一としても栄え、昭和40年代には、魚市場の水揚げ高・日本一となりました。

また本市は、わが国の重要拠点港湾です。韓国、中国への国際定期フェリーやコンテナ船、アフリカへの中古自動車輸出基地であり、海上自衛隊や南極海の鯨調査船団の入港地でもあります。

その他にも、エメラルドグリーンの海に浮かぶ角島大橋や、河畔に無数の幻想的な光を映し出すゲンジボタルなど、自慢すべき地域資源をたくさん有しています。

## 夢は長靴をはいた税理士だった

私は、地元の商業高校を卒業して魚市場に就職しました。深夜1時からの荷役作業で体を鍛え、ふく(下関では、「ふぐ」のことを「ふく」という)のセリ人で心を鍛え、漁業者との付き合いで酒を鍛えました。

体が丈夫で心が折れず、酒に強いというのは、市長の基礎力3要素だと思っています。ただし、この3要素だけでは市長にな



“死ぬまでに行きたい! 世界の絶景”に選ばれた「角島大橋」

れず、ほかの市長さんと同じく勝負は人間力だと実感しています。

魚市場に勤めていたころ、将来は魚市場のサービスとして、零細漁業生産者の経営・税務のアドバイザーになることを夢見ていました。深夜作業の合間に税理士試験の勉強に取り組み、25年の歳月をかけて税理士資格を取得しました。資格を取得するまでの間、魚市場役員、市議会議員、県議会議員を経て、市長には、最初の選挙で落選という挫折を味わいながら、再チャレンジして、現在2期目を迎えています。

税理士の方は、事務所は立ち上げたものの、夢はまだ道半ばです。市長就任後、私自身が下関市役所の簿記学校の校長とな



小学生との「ふく引き教室」で「ふくさし実演」をする筆者

また、カラオケが好きで、十八番は北島三郎の歌です。特に海の歌は、魚市場で仕事をしてきたので海の男の気持ちがかかります。宴席などで、人が大勢いる時は、音量をあげて北島三郎を、女性が多く私の歌を聞いてあ

り、1級資格を持つ職員とチームを作り、市役所全体の簿記資格取得に努めています。現在では、約3000人の職員のうち、約20%の職員が資格を取得し、自治体ではダントツの日本一です。

趣味というほどのものではありませんが、妻と一緒に家庭菜園を楽しんだり、年に数回の軽登山と温泉に出掛けたり、簿記・会計学の研究に取り組んでいます。それらに加え、私は、全国で唯一、市長でふく処理の免許を持っていると自負しており、下関ふくの伝道師として頑張っています。職員には、あらゆる機会を通じて、「ふくさし」作りを伝授し、さまざまなイベントでの「ふくさし実演」や、下関にお越しに

いただいたお客さまに「ふくさし講習会」を行う等、包丁1本で観光振興にも貢献しています。

げようという優しい雰囲気があるときは、五木ひろしの「山河」を熱唱します。

カラオケを歌いながら、政治家として、名曲の歌詞に恥じない活動を継続しているか、常に自問自答しながら毎日を過ごしています。

## 二度とない人生だから

私の座右の銘は「継続は力なり」です。今までさまざまな取り組みをこの言葉で実現してきました。継続すれば必ず力になる。力になっていなければ、まだ継続が足りないのだと思っています。

坂村真民氏の「二度とない人生だから」の詩は、心の支えです。稲盛和夫氏の「人生の目的」の言葉も私を鼓舞します。この2人のほかにも、著名な方の言葉を時折引用させていただき、就任以来7年間、毎朝「市長通信」として10000字程度のメッセージを職員に送信しています。この市長通信は、生活の一部になっており職員と一緒に仕事をしているという私からのメッセージであり、心の健康に大きく貢献しています。

健康法は、規則正しい生活をする事、毎日のジョギングやラジオ体操、妻の手作り弁当などです。自分自身をさらに鍛えるため、昨年は人生



「下関海響マラソン2015」のスタート風景

初の「下関海響マラソン」フルマラソンに挑戦しました。残念ながら30km地点でタイムオーバーとなりましたが、今年も再挑戦します。

その他に大切な言葉として、私は、「おい、あ、く、ま」の5文字、つまり「怒るな、威張るな、焦るな、腐るな、負けるな」を心掛けています。特に、「怒るな、威張るな」の2つに気を付けています。心掛けるべきは威張ることではなく、多くの人々のおかげで大きな仕事をさせていただいていると、感謝することです。そして最後の「負けるな」は、他人への挑戦の意味もありますが、それ以上に自分に負けないことが大切だと考えています。

これからも、二度とない人生を悔いのないように、私のモットーである「笑顔・元氣・思いやり。今日も市民のために、がんばろう!」を常に心掛けて、わが故郷・下関の発展のために邁進していきます。